

【文化人の先生の授業 全学年】

林 香君先生「マイ皿作り」

全学年	5年 12月18日(月)	6年 12月19日(火)
	4年 1月15日(月)	3年 1月25日(木)
	2年 2月1日(木)	1年 2月8日(木)
	6年箱書き 2月8日(木)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1枚ずつお皿を作成することで、自分の成長を確かめる。 ・皿のデザインの仕方やお皿を彫る技法を学ぶ。 	

授業の流れ

活動内容



- ① さらしを1枚敷き，霧吹きで布を湿らせる。
- ② 直径1cmほどの球を作り，色などを考えながら，隙間なく並べていく。
 - ※ 中心から外側に向かって作っていくと，隙間ができにくい。
 - ※ 色を変えるときには，色が混ざらないよう，必ずバケツの水で手を洗ってから新しい色を使う。
 - ※ 並べ方は自由だが，粒の大きさは凸凹にならないようそろえる。
 - ※ 乾燥しないよう気を付ける。



- ③ 並べ終わったら，全体に霧吹きで湿らせてから，もう一枚のさらしをかぶせ，再度霧吹きで全体を湿らせる。



④ 上からたたいてのばす。

※ 机などの平らな所で、砂の入った巾着のたたき面を平らにしてから、粘土をたたき始める。

※ 外側から内側へ軽くたたき。外側が薄く、内側が少し厚めになる感じ。

※ 粘土同士をくっつける。線がなくなるまでたたき。

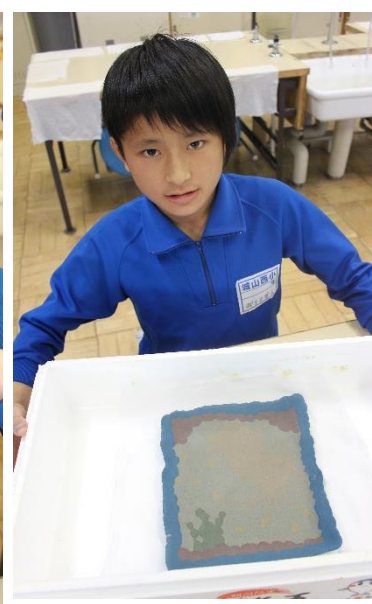


⑤ 布ごと裏側にして、裏側からもたたき。

⑥ 筋がなくなって表面がきれいになったら、ボールの底に粘土をのせ、手で優しく形を整える。



⑦ ボール（型）にのせたまま、上のさらしを外して、ネームスタンプを押したら完成。



活 動 内 容

箱書き（6年生）

桐の箱の扱い方を教えていただきました。

桐の箱にひもを通します。



- ・ 林先生に城山西小のシンボル孝子桜を描いてもらったものに、6年間の想いを込めて自分の名前を書き込み、桜の花びらをちらせます。

桜の枝に指で花を咲かせ、自分の名前を筆で書きこみます。



- ・ 箱書きが完成しました。



【授業を終えて】

- ・ 昨年度に引き続き、粘土から作成するマイ皿である。活動内容をよく理解し、上学年ではデザインの工夫もみられる。どの学年も、思い思いのデザインのマイ皿を作成することができた。林先生には、6年生の箱入れのために、皿の大きさに合わせた霧箱の準備もしていただいた。
- ・ 箱書きは6年間の集大成となり、自分の皿に対する特別な想いを強めることができた。

